

# 7月定例教育委員会 会議録

日 時	令和7年7月9日（水） 午後3時00分～午後3時25分
場 所	本庁舎 9階 会議室9-2
出席委員	松田教育長・市川職務代理者・末木委員・上原委員・川口委員
出席事務局職員	飯田教育部長・近藤教育総室長（総務課長兼任）・大森学校教育課長・山本学事課長・穂山教育施設課長・花輪甲府商業高等学校事務長・浅川甲府商科専門学校事務長・樋田生涯学習課長・長田スポーツ課長・上條国スポ総体課長・宮崎図書館長・菱山総務係課長補佐・坂本総務課主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 上原委員

・6月定例会議録の承認 原案のとおり承認



## 1 開会

### 松田教育長

これより7月定例教育委員会を開会いたします。

### (1) 教育委員あいさつ

#### 上原委員

子どもたちの願いを届ける七夕祭りも過ぎ、いよいよ夏を迎える頃となりました。すでに猛暑は続いておりますが夏本番はこれからやってまいります。

先日行われました総合教育視察では、3つの学校を訪問させていただきまして、貴重な機会をいただきましたこと感謝申し上げます。授業参観やお話し合いからそれぞれの地域の特色や慣習文化、そして何より先生方の熱心な姿勢が教育に活かされているのを感じました。

総合教育視察を行う中で心に残った言葉がありましたので、そのことを今日はお伝えしたいと思います。それは、校長先生からいただいた「凡事徹底」という言葉です。

恥ずかしながら私はこの言葉の意味を深く理解していませんでした。自宅に帰って辞書を引きましたところ「当たり前のことを十分に行うこと」「一見すると誰でもできるような当たり前のことを、徹底的にやり抜くこと」という意味が記されていました。特別なことではなく平凡なことは日常の中にあり、たやすくできることですが徹底的にするという所に強い意志と覚悟を感じます。

私にとっての「凡事」とは一体何かと考えたところ、それは「目を合わせて挨拶をする」とか「靴をそろえる」とか「時間を守る」というようなことでしょうか。これらは幼いときから親から言われたことであったり、自分が子どもに伝えてきたりしたことです。

ちょっとした心がけでできることなのですが、急いでいるときや心がざわついているとき、「このぐらいならいいや。」という気持ちが沸いてきて疎かになってしまうことも少なくないのが現状です。気分の落ち込みや不機嫌さから、家族への挨拶も目を背けてしまったり、脱いだ靴も誰も見ていないからと放っておいたり、友人との約束の時間についても、メールやLINEで変更すればいいと自分に安易な言い訳をつくってしまうこともあります。

子どもを育てる日々の中で、言葉で伝えることは日常茶飯事ですが、それは中々、子どもの中に響いていかないものです。

子どもは親の背中を見て育つと言われるとおり、日々の親の行動や姿勢、つまり親の当たり前の行動に深い影響を受けると思います。平凡なことでも徹底的にやるということは難しいことですが、だからこそ意識して行う価値があり、それが周囲に浸透していくのだと思います。

そして、ささやかな当たり前を積み重ねていくことは、丁寧に生きるという小さな幸せの実感にもつながります。そんな大人たちの存在が学校、地域、家庭をつくり、子どもたちの心を豊かに育てることにほかならないことを、校長先生のお言葉から学びました。

御静聴ありがとうございました。

## **(2) 会議録署名委員の指名**

**松田教育長**

本日の会議録署名委員は、上原委員にお願いいたします。

## **(3) 前回会議録の承認**

**松田教育長**

6月16日定例会の会議録について、何か御意見、御質問はありますでしょうか。  
よろしいでしょうか。

【原案どおり承認】

(教育委員会承認)

## **2 議事**

### **(1) 報告**

**松田教育長**

第9号 甲府市議会6月定例会の審議状況について

資料に基づきまして、近藤教育総室長から説明をお願いします。

(近藤教育総室長から資料に沿って説明)

### **松田教育長**

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

御意見、御質問はいかがでしょうか。

### **市川職務代理者**

質問ではありませんが、よろしいでしょうか。

「子どもの読書活動の支援」ということで、学校において子どもたちの読書を推進する取組について、お話しできればと思います。

学校では、子どもたちの読書を推進する活動をいくつか行っておりまして、一つは、上原委員さんにも御活躍をいただいたようですが、主に小学校へ地域の方がいらして、子どもたちに本の読み聞かせを行うという取組になります。この取組については、読み聞かせを行う方が選んだ本を読むこともありますし、子どもたちが希望した本を読むこともあります。

二つ目は、小学校において、国語の授業のうち週1時間、学校の図書館を利用する機会を設け、子どもたちが限られた時間の中で図書館の本を読むといった取組になります。山城小学校のような大きな学校ですと、クラス数が多いので、1週間の中で図書館を利用する時間を確保することが難しいという話もありますが、そのような活動をされています。

もう一つは、文部科学省でも推進された朝の読書活動になります。これは、朝の10分間、子どもたちも教員も含めて読書を行う取組で、「皆でやる」「毎日やる」「好きな本で読む」「ただ読むだけ」という4つの原則が定められています。この取組については、子どもたちの読書活動の推進というよりは、1日を落ち着いた気持ちで過ごす目的や集中する習慣を身に着けるといった別の狙いもある取組になっています。

夏休みの読書感想文につきましても、学校での読書に関する取組ですが、最近では、子どもたちに感想文を書かせることや、感想文の作成にAIが使用されるといった問題について、様々な意見が出ているところです。

今述べました取組が学校では行われておりますので、このことについて、皆さんには御理解いただきまして、御尽力いただければと考えております。

よろしく申し上げます。

### **松田教育長**

ありがとうございました。

様々な取組が学校でも行われております。

今後の読書活動についても、推進をしていきたいと思っております。

その他、ありますでしょうか。

### **末木委員**

質問ではございませんが、「一人一人に応じた多様な学びについて」に関して申し上げます。

現在、不登校の児童生徒が増えているということで、不登校対策として、一つは、児童生徒が学校へ通えるようにするという課題や取組があるかと思っておりますが、もう1点、どうしても学校へ

通うことができない児童生徒に対して、学校以外での学びの場を確保することが必要であると考えています。

例えば、フリースクールは学校に通うことができない子ども達にとって、学校以外の場で学ぶことができる場となっていますが、出席扱いとするかどうかという課題もございます。

今後は、学校以外で学ぶことができる機会の環境づくりが求められると思われまので、多様な学びの機会について、子どもの希望に沿った対応をとっていただきたいと考えています。

よろしく申し上げます。

### **松田教育長**

ありがとうございました。

その他、いかがでしょうか。

### **上原委員**

「子どもの読書活動の支援」のところで質問させていただきたいと思います。

読書は子どもにとって、情報を得るとか、感性を磨くとか、主体的な学びというところで、大変有効なことだと思っています。

そこで、例えば甲府市立図書館において、視聴覚に障がいのある子どもですとか、活字による読書が困難な子どもに向けての取組はありますでしょうか。

### **宮崎図書館長**

現在、甲府市立図書館では、様々な子どもの特性に合わせた資料を揃えており、例えば、子どもに限らず、字が見にくい方に対しての大型の活字本、まだ文字が読めないようなお子様向けに飛び出す絵本等を取り揃えております。

また、目の見えない方については、CD等の音声資料を多く取り揃えております。

今後におきましても、そのような資料を用意していきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

### **上原委員**

障がいの有無にかかわらず、読書による、文字の恩恵をすべての人が受けられるようにしていただければ嬉しく思います。

よろしく申し上げます。

### **松田教育長**

その他、何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、確認いたしました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

### **3 その他**

**松田教育長**

その他になりますけれども、何かございますか。

### **4 閉会**

**松田教育長**

以上をもちまして、7月定例教育委員会を閉会します。